

川村理助 川村 教育家。慶應二年七月富陸國生れ（一八七一）。明治
 二十二年高等師範學校卒。女子高等師範學校助教を経て、二十七年
 和歌山縣師範學校教頭に任じ、程なく校長となり、全國中等學校校長
 中最年少者の幸運と、家庭内では業病の妻とあり、爾後看護に二十
 餘年。その死を境に頓悟を感じて精進會を興じ、全國を行脚して精進
 道を説いて回った。また教科書『実践女子修身』（内地では印刷不可
 とす）の後執筆總校付の梓澤やらの『修身』を著し、昭和十一年には第一回
 師道講義會を開くなど、修身教育に盡力した。

著書に、『教育勸話講話』（昭和十一年二月二十日培風館）、『師道講
 話』（昭和十一年九月十日培風館）等。

